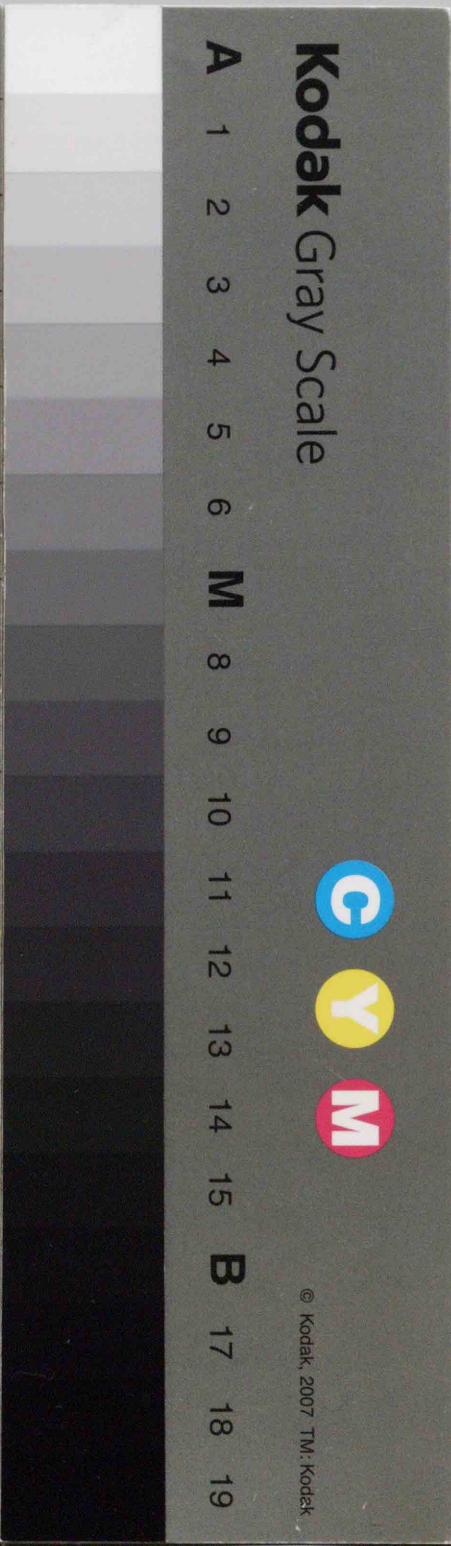
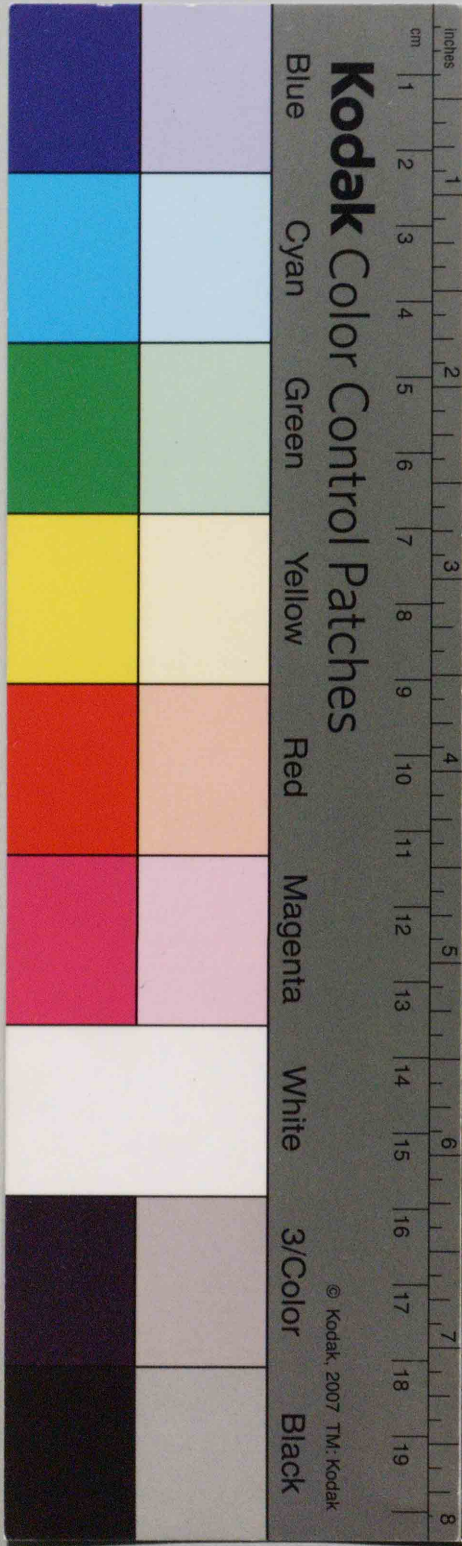


40635

教科書文庫

4
710
31-1929
200030 2172





375.9  
Sho20

資料室

新撰小學圖畫目次

尋常六年

1	つぼ	先生の作品
2	風景	生徒の作品
3	洗面器	先生の作品
4	たんぼとすみれ	荒木十畝作
5	ペン畫と圖案	先生の作品
6	昆虫とその模様	先生の作品
7	ダリヤ	先生の作品
8	ガラス器	先生の作品
9	りす	先生の作品
10	夜と晝	先生の作品
11	クッションとテーブルかけの圖案	先生の作品
12	秋の果實	先生の作品
13	版畫	生徒の作品
14	風景	生徒の作品
15	静物	藤島武二作
16	冬の景色	川合玉堂作
17	並木	スゴンザック作

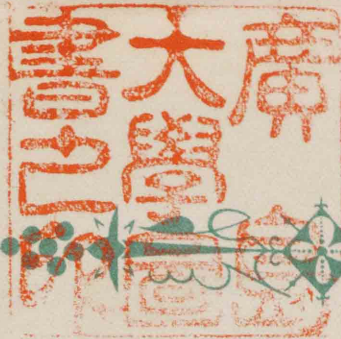
教科書文庫

4

710

31-1929

2000302172



新撰  
小學圖畫

緒言

本書は文部省令に準據し、且つ現代圖畫教育の要求を充分に省察して編んだもので、兒童の藝術的芽生を育成し、廣くは文化生活の基調たる美意識の涵養、及び情操陶冶の一助たらんことを期した。

其の内容は、新時代の教育學說を經とし、實際教育家の體驗を緯として成り、悉く兒童に依つて消化さるるは勿論、すべて其の血となり肉となるべきもののみである。而も編纂に當つては、初等教育の程度を考慮するの餘り藝術の高所を見失ふことなきやう多大の苦心を重ねた。

多面的なる圖畫教育の一面に遍することなく、正確なる觀察による描寫能力の増進、創造考案力の養成、鑑賞能力の開発等、各方面に渉る材料を採擇按配して、兒童の藝術的發育を全的に指導し得るやうに工風した。

幸にして、本書が我が一千万第二國民の美的教養を高め、進んでは世界文化の中に赫々たる光輝をはなつた我國美術工藝發展の上に一層健全なる基礎を確立する爲に役立たば本懐の至である。

昭和三年十一月

初等圖畫研究會長 岡田三郎助



広島大学図書

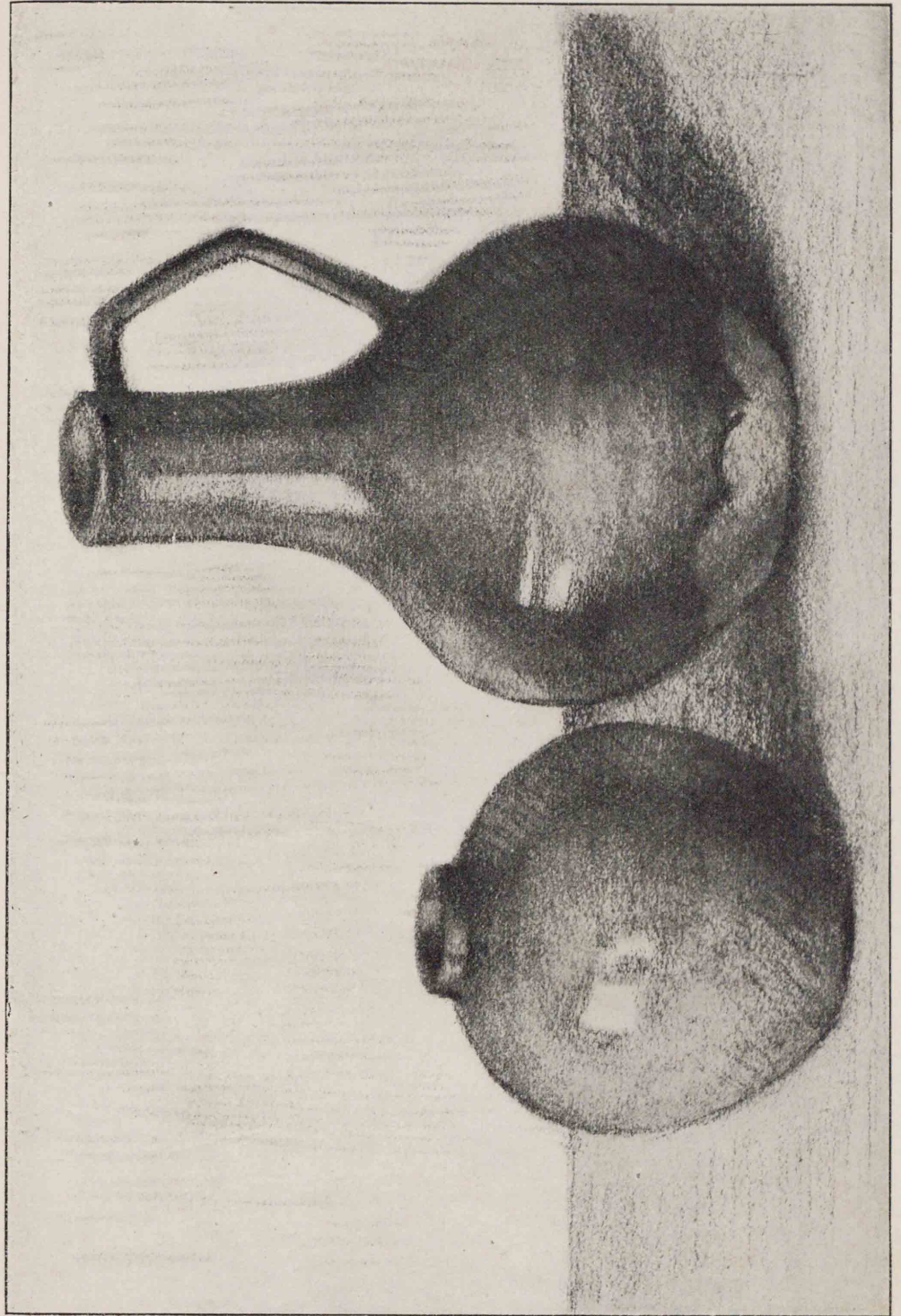
2000302172







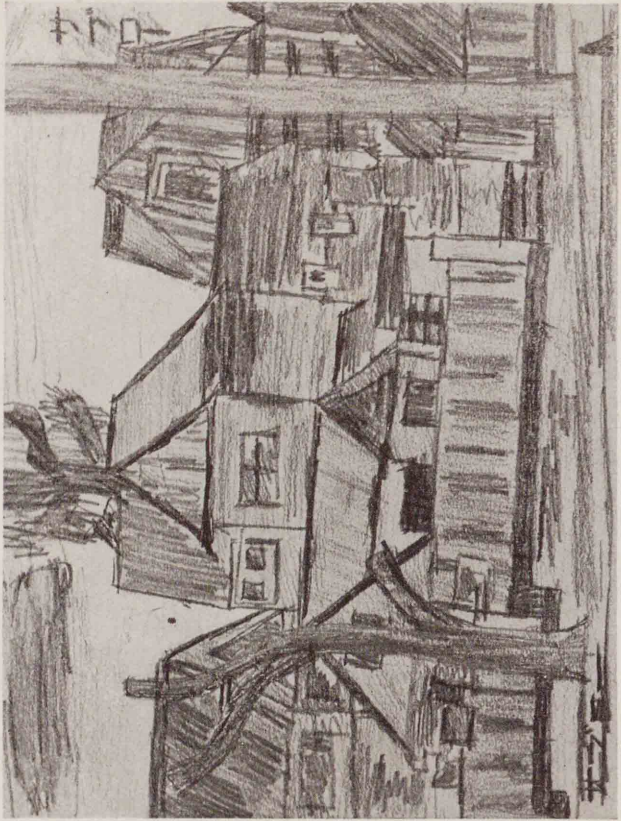
東京大学  
図書印



紙模写 6-1 つ 燈

先生の作品





風景 6-2 圖解

生徒の作品



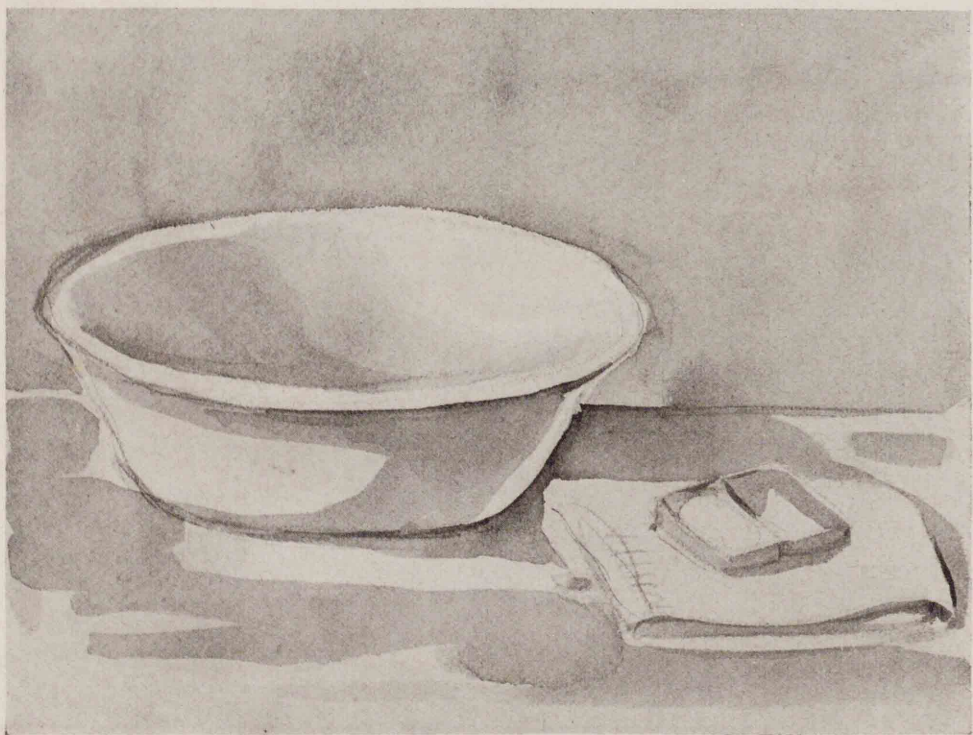


圖 6-3 洗面器

先生の作品



たんぽくとすみれ

荒木十畝

朱を含んだ黄金色あざやかに染がかれたたんぽうの花は、尖つてのびるその葉と共に強く眼をひきます。

紅と水色と溶け合ひながら、筆の先からさつとほとばしり出た色、それがすみれの花です。美しい色を持つてつゞましく咲く姿は、春のやはらかさをついでゐます。

蝶をよび早春を唄ふこの二つの花の取合せこそ、まことに趣のある構図。筆者は日本畫の大家で、花鳥には特に妙趣を悉される荒木十畝先生。皆さんが讀本で學ぶ「筆勢非凡丹青の妙言ふべからず」とは、この繪を味はつて知る言葉と思はれます。

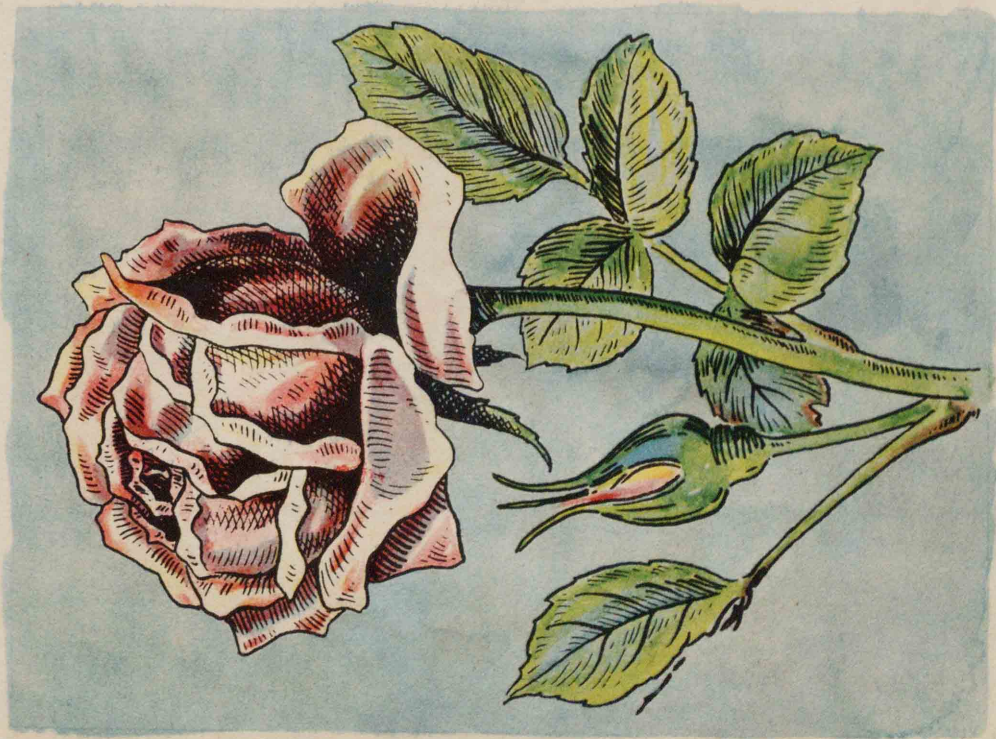
しなやかな筆にも力をこめ、溶けまじる色にも淨らかさを失はない美しさが先生の繪のすべてにうかゞはれます。花ばかりでなく、樹でも果物でも、日本畫を味はうには色と共に筆づかひの面白さを見のがさないやうにありたいものです。



墨画 6-4 たんぽくとすみれ

荒木十畝作

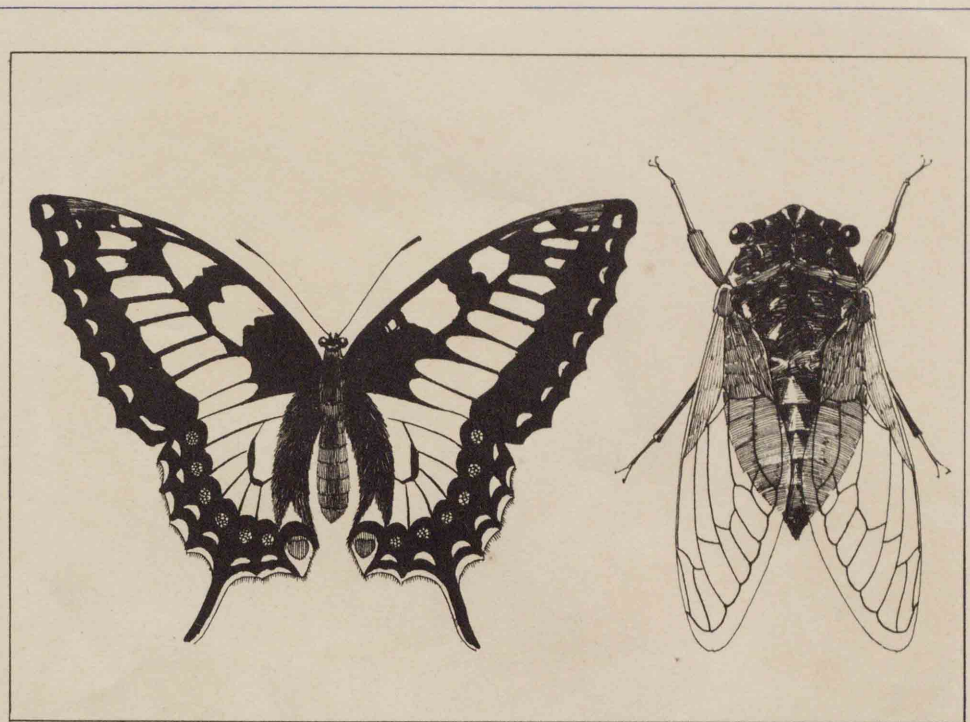
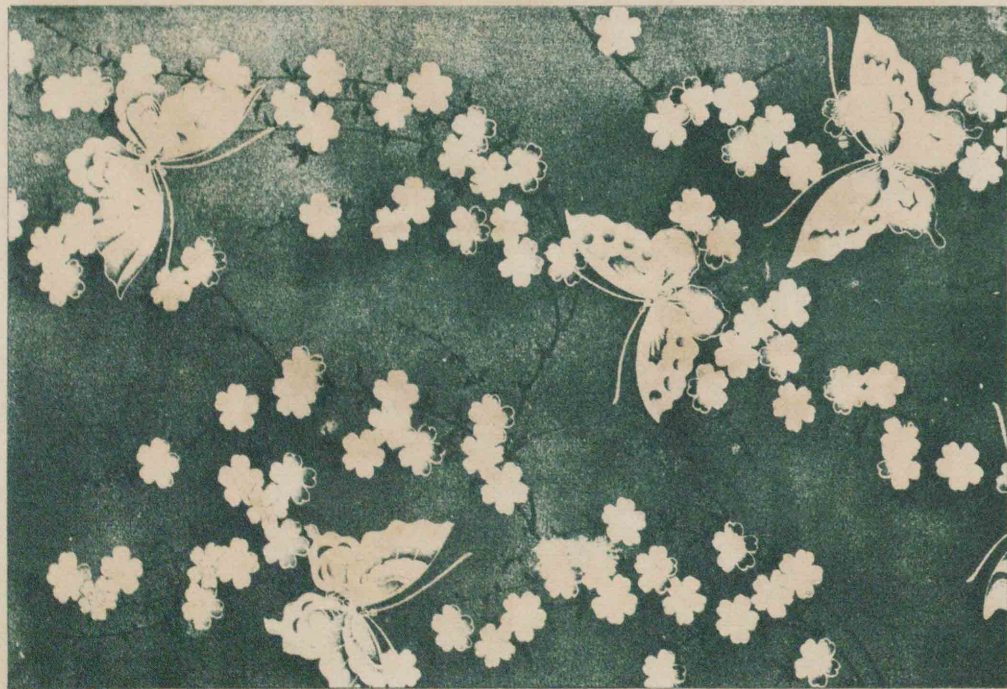
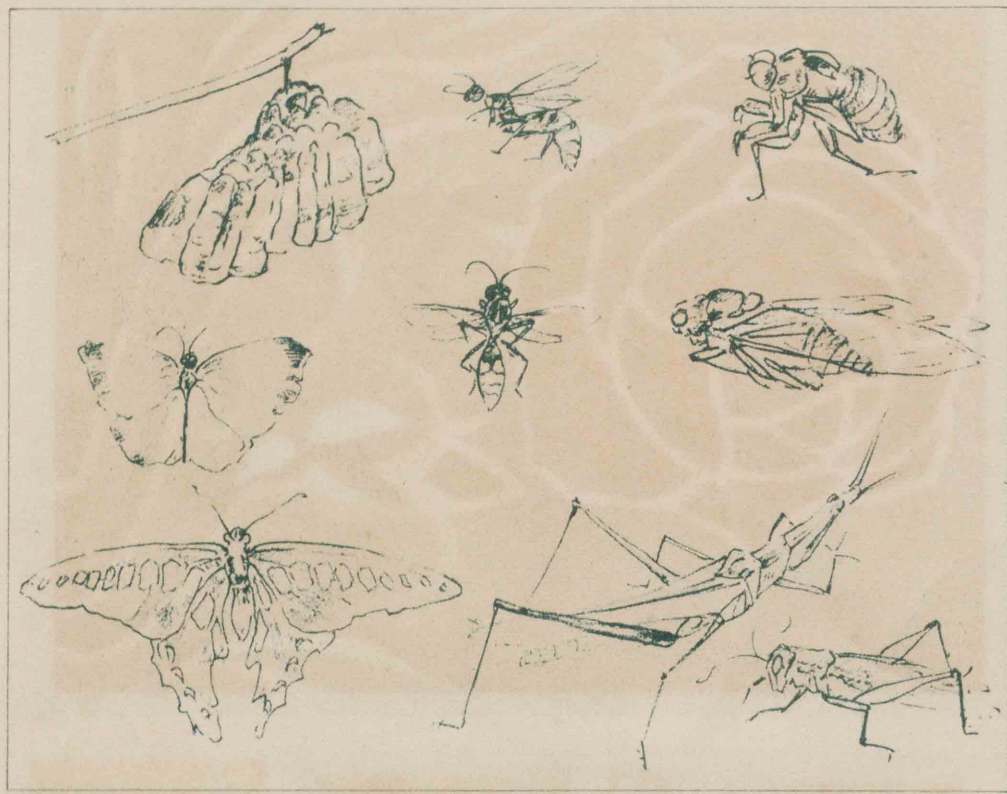




紙剪畫 6-5 ペン畫と圖案

先生の作品





【蘇撰】 6-6 昆虫とその模様

先生の作品





【紙撰寫】 6-7 ダ リ ヤ

先生の作品



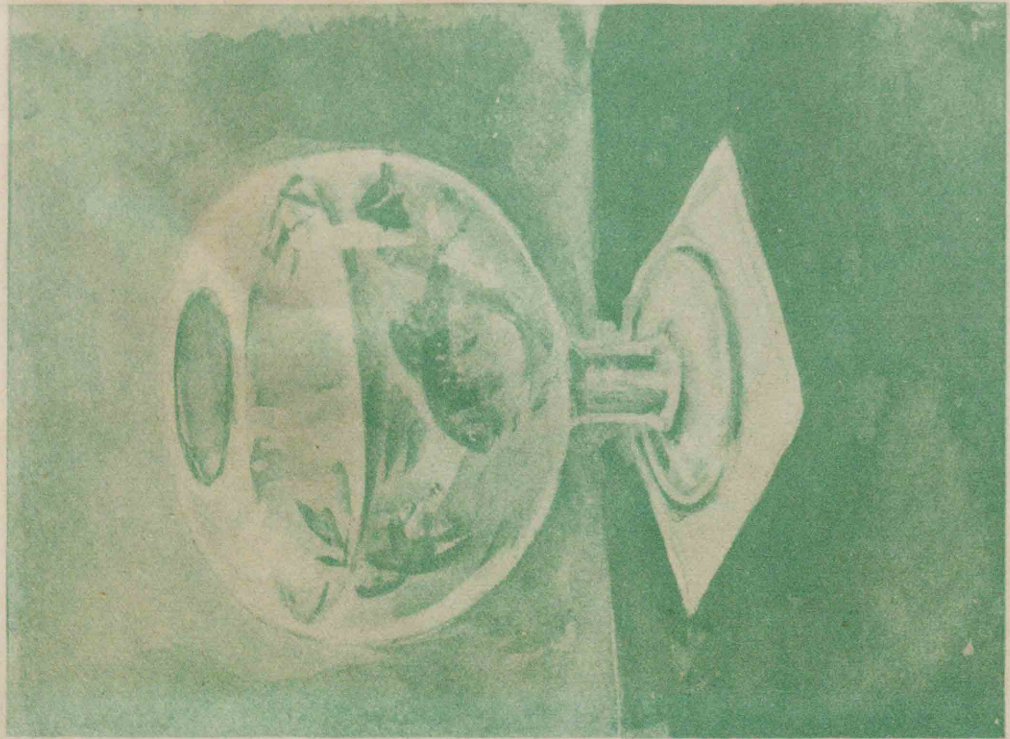
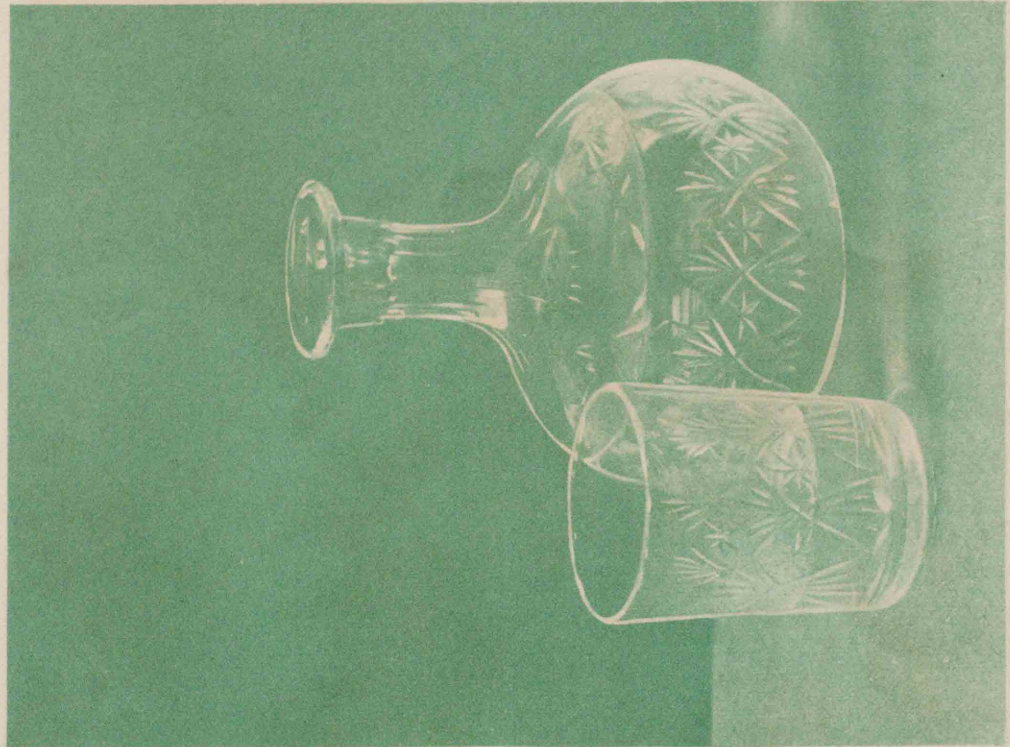
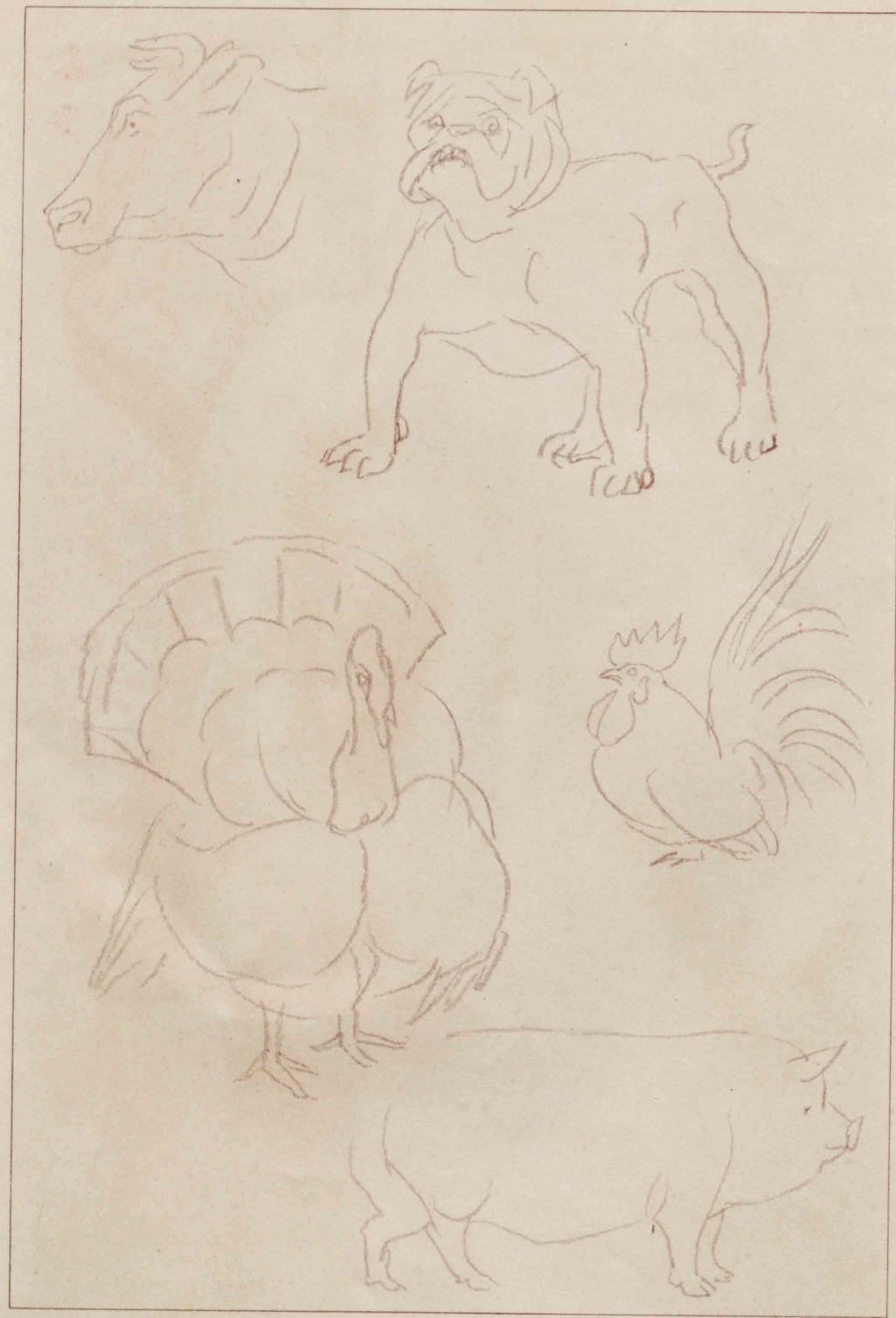


図 6-8 ガラス器

先生の作品

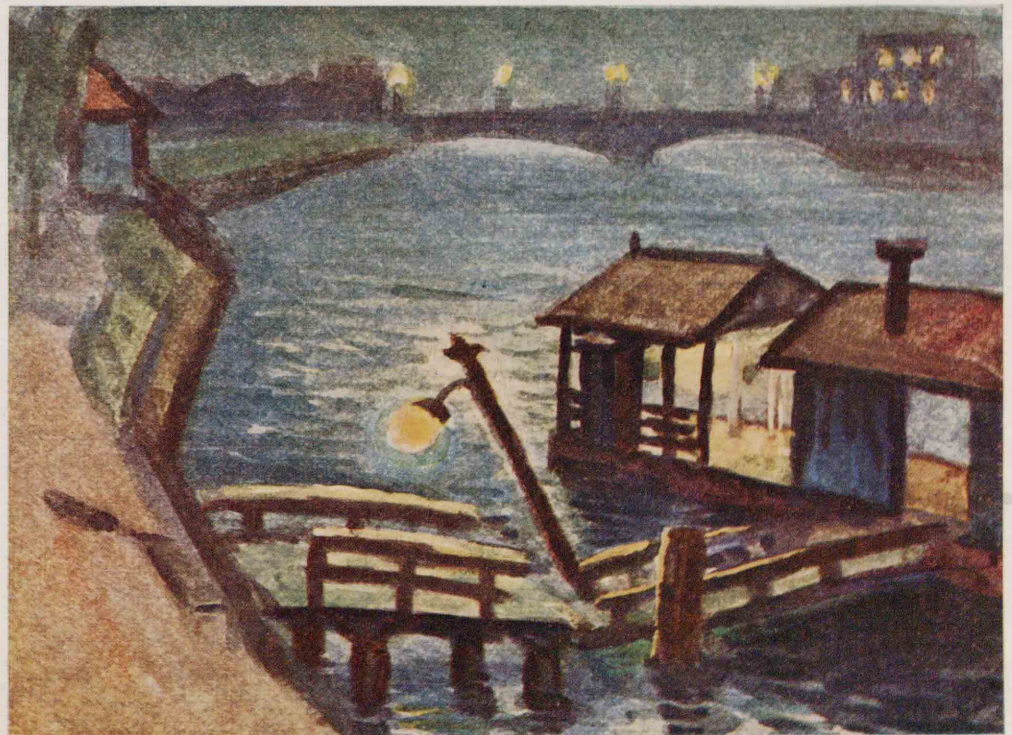




寫真圖 6-9 り す

先生の作品

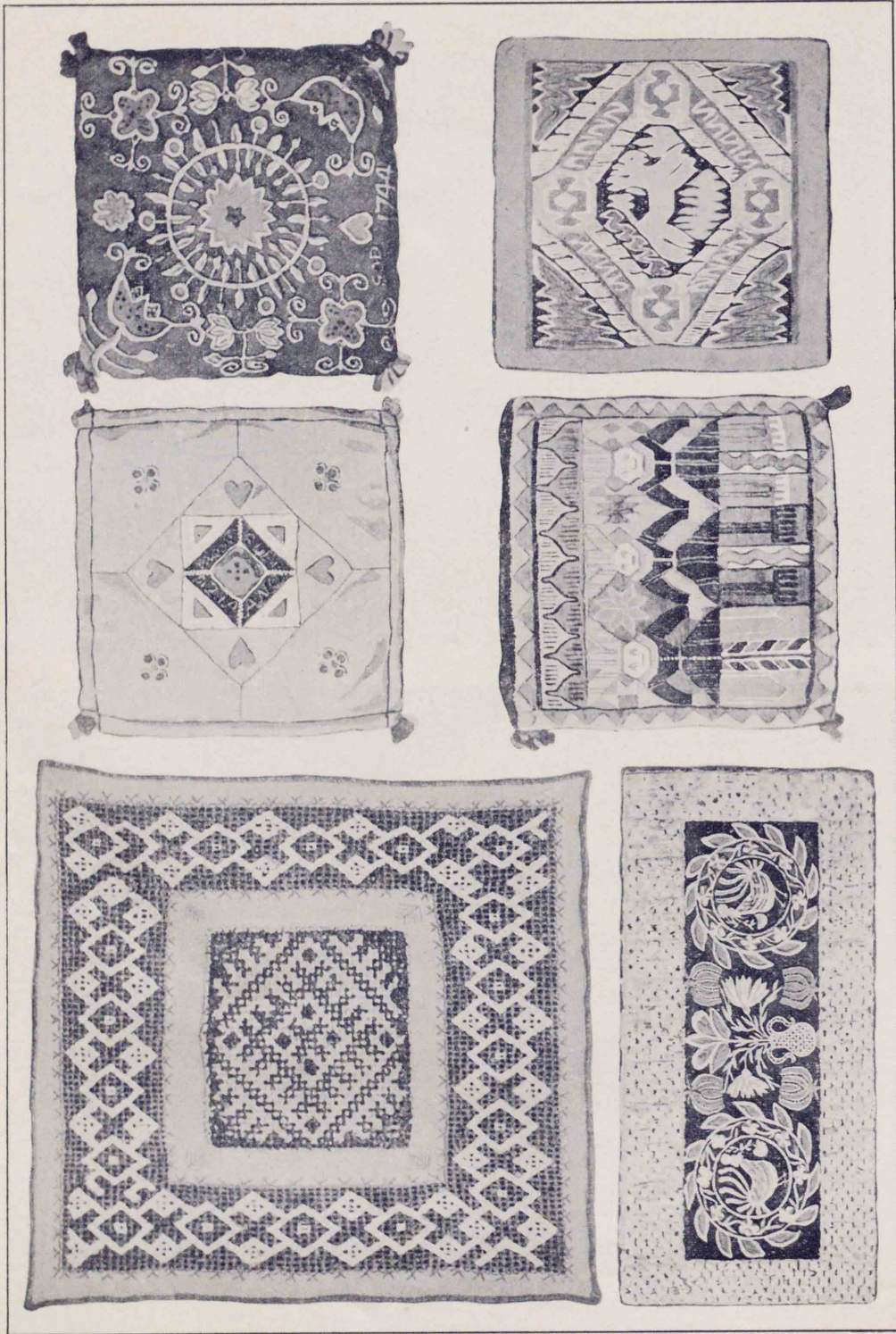




〔紙撰〕 6—10 夜 と 晝

先生の作品





圖樣 6-11 クッションとテーブルかけの圖案

先生の作品





果實の秋 12-6 高橋 繁

先生の作品



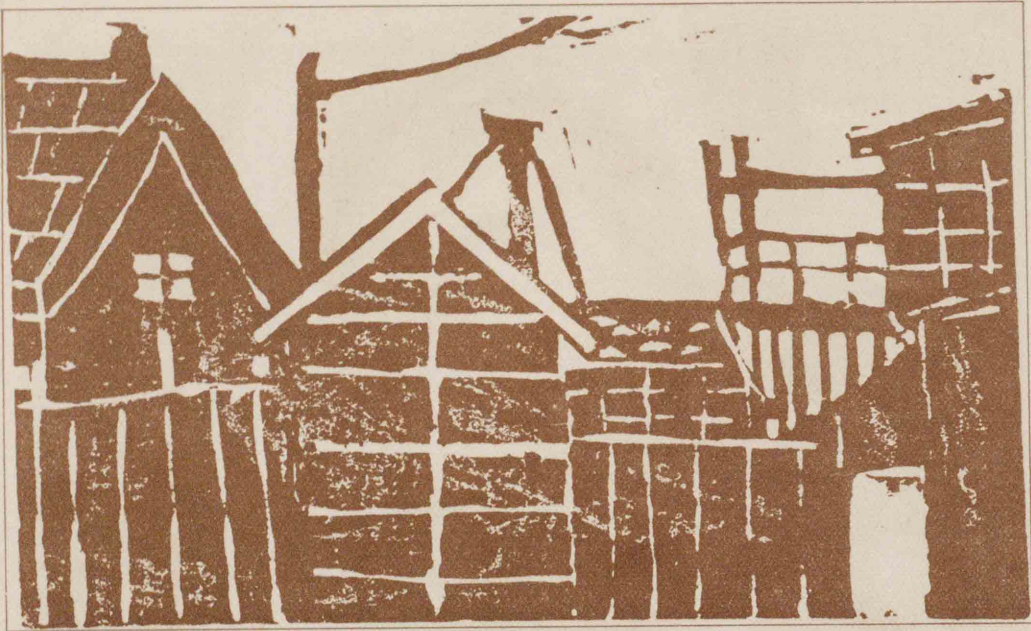


圖 6-13 版 畫

生徒の作品





〔画撰〕 6-14 風 景

生徒の作品





【紙張】 6-15 静物

藤島武二作

静物

藤島武二

支那焼の花瓶から水を吸ひ上げて花は活きてゐます。

一刷毛づゝ研えた腕によつて彩られるとそれが葉となり花となつてゐるのです。そののびやかな筆の運びに従つて眼を走らせてごらん下さい。葉はをどり、蕾は開かうとし、花はやさしく笑ひかけてゐるではありませんか。

淡紅の唇の裡に金齒のやうにかゞやく花心、濃緑の葉影など、美しい集りは背景のしびい色の上に浮いて、冷い花瓶と共に一つの氣品を備へてゐます。

うるはしい色彩とのびくした筆勢とは藤島先生の繪の光であります。先生は帝國美術院の會員で、また東京美術學校教授として多くの若い人々を美の國に導びいて居られます。



冬の景色

川合玉堂



【無撰】 6-16 冬の景色

川合玉堂作

木枯しがさつと吹いて木々の葉を皆ふるひ落し、目にうつるすべてが掃き浄められたやうな景色です。淋しく立つ裸の樹は、常には見せぬ面白いその枝振りを空間に描いて、細い指先に風の行手を示してゐます。

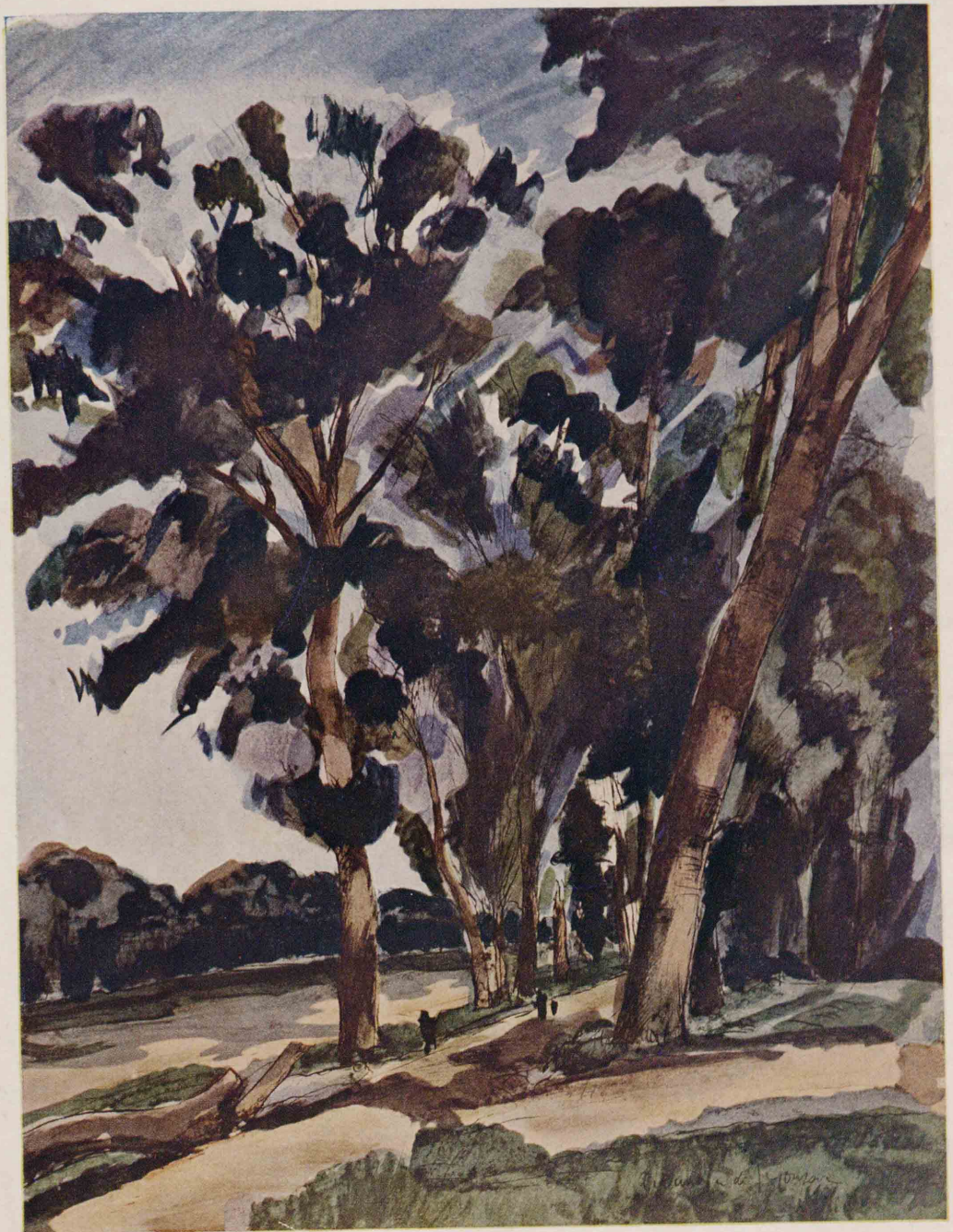
汀の草はしぼみ、葦の莖は細つて、樹立と共に一しほ寒さの感じをあらはし、乾いて透明な空気を見事に寫してゐます。

淋しい自然の天地に少しの動きを見せて浮ぶ小舟をごらん下さい。簡単な幾筆に動作を示し、舟を操る人の姿の面白さ、一点一線皆活きてはたらく非凡な筆勢は、日本畫の妙趣を悉してゐます。

構圖の妙と淡彩の淨らかさは、この繪の特に味はふべきところと思はれます。

玉堂先生は、日本畫壇の權威で、明治時代から今日まで多くの傑れた大作を發表せられ、美しい裡にも氣品に富むその畫風は人々に讃へられてをります。





スゴンザック作

〔蘇撰〕 6-17 並 木

## 並 木

スゴンザック

この繪をずっと眼よりはなしてごらん下さい。

強い日光が緑葉にあたつて照り返すと、反対に陰は濃い緑が黒味を帯びて重なり合つてゐます。

樹の影は地上に落ちて、強い緑の薫りに満ちた日盛を想はせ、なほ細かい所に眼をつけるなら、荒く走らせた筆に活氣あふれる葉の感じを出し、ペンを巧に使つて水彩に一層の力強さを加へた點、また豆のやうに小さい人に雄大な樹立、川を隔て、向ふの並木を低く見せた構圖の妙など、見れば見る程面白さを覚える繪であります。

私達はスゴンザック先生の自然に對する鋭い觀察と其の大膽な筆遣ひとを心して味ひたいと思ひます。スゴンザック先生は、フランス現代の大家として、そのすぐれた技巧を多くの作品にあらはされてゐます。



新撰  
小學圖畫

【不許複製】

昭和三年十二月二十九日印刷  
昭和四年一月一日發行

定價	尋一・尋二	各金二十三錢
	尋三・尋四	
	尋五・尋六	各金二十八錢
	高一・高二	

著者 初等圖畫研究會  
會長 岡田三郎助  
發行兼印刷者 東京市神田區通神保町一番地  
株式會社三省堂  
代表者 神保周藏  
印刷所 東京府荏原郡蒲田町  
株式會社三省堂印刷部

發行所

株式會社 三省堂  
東京市神田區通神保町一番地  
振替東京三一五五番

株式會社 三省堂大阪支店  
大阪市南區順慶町通一丁目四一番地  
振替大阪八一三〇番

改正定價	尋一・尋二	各金二十錢
	尋三・尋四	
	尋五・尋六	各金二十五錢
	高一・高二	



